

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野俊介 印刷所 東京印刷株式会社

厄落としの会



解説 ～厄落としの会～

中央会恒例行事のひとつ。開始されたのがいつかはっきりしないが、20年前後続いていることは確か（ご存知のOBの方がいらっしゃいましたら教えてください）。当初は、「米子・境でいつも行事をやっているのだからおまはでやらいや！」ということから美保神社で行われていたと聞く。（ここでの伝説的な逸話は数多く残っていますが、あえて書きません。）

年初恒例行事である「厄落としの会」が今年も1月26日（日）勝田神社にて行われた。今年の出席者は13名。神事については一部「厄が半分くらいしか落ちないんじゃないか？」と思われる会員もいたが、ほぼ滞りなく終了した。その後、懇親会場である岩崎館へと移動。懇親会では、今回の世話役である中原会員が、勝田神社で頂いたお神酒で乾杯の音頭をとり、宴が始まった。酒もかなりマワッタ頃に、久野会員が「今からゲームをしま〜す。」と声があがると、田中会員とコンパニオンの子が前に出て・・・なんと厄を落とす前にシャツとパンツを先に落としてしまったのだ。それを見てか、夏山会員が、「厄を落としてくうけん?!」と一人で岩崎館を後に、皆生海岸の方へと・・・懇親会は、少人数ではあったが、かなり盛り上がり無事「厄落としの会」を終えた。（野口 学）

言わしてごしない EPISODE 7

あなたは何色の車に乗っているだろうか？
薄暮、または夜明けの時間帯に車を運転していて、気になることがある。それは黒っぽい車が、スモールランプも点灯せずに走行していることだ。相手側からはライトをつけたこちらの車はよく確認できるだろうが、アスファルトの保護色のような濃い車は、老眼がかかってきたせいなのか、実に見えにくい。その上、雨でも降ってれば最悪である。雨の音にかき消されて後方から近づくのもわからず、追い越されてからやっと車の存在に気付くことも少なくない。他人への配慮がまるでないのか、単なる〇〇なのか...（〇〇には、適当な罵倒語をお入れください）
違法であるはずの、携帯電話をかけたままの運転も、1日に何台となく見かける。彼らの多くは、方向指示器も出さずに曲り、進路変更し、クラクションの音にも耳を貸さない。運転席を見れば、いい年をしたオヤジである。話の内容は分からぬが、楽しそうな顔が、残り少ない頭髪にまたダメージを与える。「走る凶器」に乗っている自覚が微塵も感じられない。
その原因によって、寿命が平均どれくらい短くなっているかを示す「損失余命」という考え方がある。現在どこにいても嫌われるダイオキシンが、この世から完全になくなれば、日本人の平均寿命は1.2日延びる。ホルムアルデヒドが4.1日、カドミウムなら0.8日。一方交通事故が奇跡的に0になれば、なんと99日も寿命が延びるのだ！ちなみにタバコは1.5年である、ご同輩。
自動車と同様に語れないが、黒っぽい学生服は、いつになったら廃止になるのだろうか。夕方の中学生、高校生は実に危険だ。自転車に乗った学生たちは、ほぼ例外なく無灯火。しかも2列、3列で横に広がり、車の気配にも無反応。もちろん、運転手は細心の注意をもって運転しなければならぬ。
しかしである。「わざと見えにくくしている」としか思えない学生服を、何十年も放置している学校関係者は、同じようなヒヤリを感じたことがないのだろうか。学生時代にあれだけ嫌だったはずの制服を、管理しやすく、という理由だけで子供たちに押しつけている先生たちは、後ろめたさを覚えないのだろうか。交通行政も、スローガンだけの交通安全運動よりも大切なものがあることに、早く気付いてほしい。子供の安全以上の大義名分などありはしないのだから。
(岩崎 俊和)

ログハウス景山のフレンドシップ通信

今年の正月に出会った友達の話
めずらしく友達を訪ねてくれました。名前は、ブラッド。アメリカはテネシー、グリーンフィールドから来ました。ケビンコスター主演映画 フィールド オブ ドリームスの舞台。周りは全てコーン畑。見渡す限りコーン畑。端から端までコーン畑。コーン畑から太陽が出てコーン畑に太陽が沈む。そんな所です。だから、感覚がちがいます。町まで3時間近いよ。すぐ海もあるよ8時間。PGAのゴルフ場も近いよ4時間。もちろんアメ車でぶっ飛ばしての話。5分10分の単位はなし。皆さん忙しいですね。
ホームステイできます、英語の授業もついています。湖でのボートにフィッシング・乗馬も出来ます。エルビス記念館も近いです。
ゆっくりしたい方、子供と奥さんとゆっくり話ができます。希望の方は、連絡ください。



お知らせ

井塚聡会員の事務所が下記に移転となりました。
〒683-0805 鳥取県米子市西福原9-22-2
TEL・FAXは変わりません。

2月例会案内

とき 平成15年2月17日（月） 18：30～
ところ ホテルサンルート米子
講師 元ヤマト運輸(株)代表取締役社長 都築幹彦氏
演題 「経営環境の変化にどう対応するか
—潰れる会社・生き残る会社」
2月例会は、規則の圧い壁と戦ったヤマト運輸(株)元社長を講師にお迎えします。
会員をはじめOBの皆様のご参加をお待ちしております!!

2月役員会報告

役員会が平成15年2月3日（月）、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。
(1) 2月、3月、4月例会開催の件
(2) 会長指名推薦の件
(3) トライアスロン
(4) その他

1月例会報告

平成15年1月15日（水）、サンルート米子にて広報委員会担当による1月例会が開催された。

冒頭に、門協会長が新年の挨拶をされたのち、現在は今まで経験をしたことないデフレであり、バタバタしても仕方がない、努力をしていることが大事。『負けを恐れずにやるしかない』と述べられた。



次に、新入会員（辻 拓哉会員）の紹介があった。社会員は中央会活動を通じて学んだことを自分、会社に活かして地域に貢献したいと話した。政治行政委員会、土井委員長による委員長タイムでは『景気の悪い中、良いくせ良い考え方』を持って、迷った時は考えてもまともならない。外野から見て他人の意見（特に異業種）を聞け。中央会は最高の相談室である。失敗から得るものは多い、プラス志向で楽観的に考えることが大切とのスピーチがあった。

講演会

テーマ：『企業人としての自己管理』中央会人の不摂生を正す
講師：(有)中塚カイロプラクティック研究所 院長 中塚 裕文氏



カイロプラクティックとは背骨の歪みを手によって矯正することにより健康を増進させること。
カイロプラクターとは薬や手術を使わないドクターである。
健康は食事、運動、休息、精神、健全な神経行動でつくられる。
7つの健康習慣として①朝食をしっかりと取る。②間食をせず規則正しく食事を取る。③十分に睡眠を取る。④定期的に運動をする。⑤理想的な身長、体重を維持する。⑥アルコールは飲んでも少量又は飲まない。⑦喫煙をしない。



不摂生を常としている中央会会員にはリトマス試験紙による健診結果、公演内容とも頭の痛いものであった。
更に、不摂生の極致、潮会員の健診。糖尿病歴3年、年末には鎖骨骨折と痛々しい姿で登場。僅か数10秒の治療で下がっていた左肩が右肩と平行になったのには一同ビックリ。早く先生にお世話にならないと...と思った会員も少なくなかったことだろう。
潮会員が開放された後、夏野副会長より謝辞が述べられ例会は終了した。

(永田 研一)

What's中央会 第7回

～足立真治が語る中央会 その2「他団体とのかわり」～

鳥取県西部において、西部青年中央会のような若手企業経営者・管理者の集合体は、他に、(社団)米子青年会議所、(社団)境港青年会議所及び米子商工会議所青年部の3団体があります。それぞれ独自の活動を行っていますが、昭和57年、第8代会長・岡田端氏の呼びかけで、「沈滞した地域経済の活性化と中小企業の振興発展を図る」ことを目的として、4団体で「西部地区青年経済団体連絡協議会」が設置され、行政等に対して建議・陳情あるいは合同研修会を開催しています。幹事は一年ごとに持ち回りでなっていて、本年4月からは本会が担当になります。

コピーをして名簿にお貼り下さい

辻 拓哉 A型
昭和ウィンドウ株式会社
建築用資材販売・施工
〒683-0005 米子市中島2丁目15番16号
TEL 0859-34-4014 FAX 0859-22-2586
H15.2人会 (推薦者) 後藤 隆
〈自宅〉米子市久美町231 グリーンピア米子駅前01号
〒683-0035 S.47.10.9 TEL.0859-22-4637

〈コメント〉
この度入会させていただきました。昭和ウィンドウ株式会社の辻拓哉と申します。
中央会での活動や様々な人々との出会いを通じて、自分自身がどれだけ成長できるかが課題だと思います。また、私が勉強させていただいた事を色々な場で活かせるよう、一生懸命頑張りたいと思っています。しかしながら、なにぶん未熟者の私ですので、皆様方どうぞご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

勝 元氣出世



門脇浩二氏(45) べに各アソビまるせい組長(米子市) / 門脇浩二氏(45) べに各アソビまるせい組長(米子市) / 門脇浩二氏(45) べに各アソビまるせい組長(米子市)

門協会長大いに語る!!

さる1月3日の日本海新聞紙上において「元氣出世とっとり」と題し、我が門協会長が平野東部会長、山下中部会長とともに今年にける想いを熱く語りました!!

— 新年のキーワードは。

「勝」です。「勝負」と「勝」の両方の意味を込めています。同じ勝負でも、スポーツ選手は準優勝の次に優勝を目指すことができます。しかし経済は生きています。経済は勝負に負けたらそこで終わりです。勝ちにいかねばなりません。昔から安全といわれている会社が次々と倒産するこの時代に、意地で勝負するほかない。勝ちの裏には負けがあるが、恐れずに勝負をかけたい。原点を忘れず、自己研さんし、高い志を持って努力したい。想いを形にしたい、というメッセージを込めています。

— 西部青年中央会の今年の重点目標は。

第一に、会員のモチベーションの向上を目指します。2004年に30周年を迎える青年中央会を「地域社会に中央会あり」と呼ばれる団体にすることが目標です。

第二に、環日本海交流の勉強を行うことです。既に昨年、中央会に国際交流委員会を立ち上げています。米子空港ソウル便就航で、環日本海交流が身近になったことを実感しました。

境港市のFAZなどハードは既に整っており、ソフト面も勉強していかないと時代に乗り遅れます。今年は韓国から経済人を呼んで勉強会を行う予定です。最終的にビジネスチャンスが生まれてくると信じています。

— 鳥取県の魅力、逆に欠点や課題は。

鳥取県は「全国で一番小さい県」という発想を逆に大切にしたい。対外的には、鳥取県は自然が豊富というPRをしているが、これは当たり前のこと。日本一人口の少ない県にパワーがある、という魅力をもっとPRしていけばいいと思うし、企業にもそういう気持ちで奮起してほしいです。

欠けているのは、米子-鳥取間の交通アクセス。JRの高速化工事などが進んでいます。早く高速道路を完成させ、車で一時間ぐらいになればいいと思います。

— 2003年の鳥取県はどうなる。

本来、金融不安は中小企業では起きてはならないのですが、体力がないからお金を借りなければならない。今が最悪ではなく、この状態が三年は続くと思われる。小泉内閣の構造改革が本格化する今年が最も厳しいでしょう。中小企業も失業率が上がると思っています。

米子市内の繁華街で話を聞くと、消費者のマインドが明らかに冷え込んでいることが分かります。しかし、あと五年間頑張れば必ず明るい兆しが見える。供給過剰の時代を、中小企業は大企業にはない小回りを利かせて乗り切っていきたい。

— 2003年の日本経済は大丈夫か。

私が事業を始めた1989年、米子は「山陰の大阪」と呼ばれていました。しかし、問屋を中継してモノを売っていた時代は終わり、時代の流れで商売の方向性も変わっています。

やはり自己研さんし、高い志を持ってやるしかない。われわれ中央会は異業種の集まりですが、私はそれぞれが原点に立ち返ってほしい、と説いています。人間は下がってみれば目指すものは上にしかない。口で言うのは簡単なことですが、実行するのは難しい。「想いを形に」する努力が必要だと思えます。

第1回実行委員会を終えて ~新入会員の「鉄人三種目競技大会」考察~



第23回全日本トライアスロン皆生大会まであと半年となりました。「西部青年中央会の熱い夏」がまたやってきます!

先日、財政難のためトライアスロン皆生大会の存続が危ぶまれているという報道がされていました。また、新し物好きの市民気質のためでしょうか、トライアスロンに対する関心(参画意識)も薄れてきている気がします。

ご存知のとおり、皆生大会は国内初の伝統あるトライアスロンであり、皆生大会を毎年楽しみにしているアスリートたちがたくさんおられると聞いています。また、西部青年中央会の関りの深い大会でもあります。景気低迷の今だからこそ精一杯参画し、地元鳥取県西部地区に少しでも元気を取り戻すためのお役に立てればとおもいます。また、それが来年度以降のトライアスロン皆生大会にも繋がります。

小雪が舞う冷え込みの厳しい1月21日(火)、海鮮そば海王にて第28期トライアスロン実行委員会の第1回全体会議が開催されました。若田実行委員長をはじめとする当日参加者10名による熱い討議は予定時間を30分もオーバーして繰り広げられ、西部青年中央会のトライアスロンに対する熱い想いがひしひしと伝わってくる会議となりました。

「中央会のために、また後に続く者たちが今後やりやすくなるように効率よく取り組み、みんなで満足感を味わう」をテーマに、「ボランティア、原点への回帰。」を今回のスローガンに掲げ、今後取り組んでいきます。

読者のみなさん、今年度も中央会のため、地元のためにボランティア精神の原点に戻り積極的な参画をよろしくお願いいたします。特に私を含め平成14年度新入会員のみなさん、(この紙面が出るころには終わっていますが、)オリエンテーションにて中央会とトライアスロンについて理解を深め、テーマにもあります“満足感”“達成感”を分かち合ひましょう。

「暑くて熱い夏」はもうすぐです。

(実行委員会事務局：福庭貴志)

1月度委員会報告

きずな委員会
平成15年1月9日(木) 於：米子食品会館 出席者/15名
内容/4月担当例会について

情報メディア委員会
平成15年1月7日(火) 於：米子食品会館 出席者/11名
内容/講師講演

講師：鳥取県西部広域行政管理組合
西部消防局司令補 古志 正人氏

政治行政委員会
平成15年1月14日(火) 於：ホールサムインかいけ 出席者/12名
内容/3月担当例会について

モラル委員会・国際交流委員会合同委員会
平成15年1月10日(金) 於：ホールサムインかいけ
モラル出席者/11名
国際交流出席者/10名

内容/講師講演
演題：「中国経済事情と商慣習のモラルについて」
講師：野坂康夫氏

経営委員会
平成15年1月10日(金) 於：米子食品会館 出席者/9名
内容/講師講演

講師：(株)インタープロス 代表取締役 竹下順子氏

広報委員会
平成15年1月9日(木) 於：県立武道館研究室 出席者/11名
内容/①ハンサム2月号担当割

②1月担当例会について

総務委員会
平成15年1月9日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/14名
内容/①平成14年度オリエンテーションについて

②国際交流委員会中国企業視察について

新入会員オリエンテーション開催

去る1月27日、米子食品会館において新入会員オリエンテーションが開催された。今回は新入会員7名が対象となり、総勢23名で行われた。

まず門協会長が新入会員に対して期待の言葉を贈られた後、もはや中央会名物となった中津尾副会長渾身編集による中央会歴史ビデオを上映、オリエンテーションは2部構成で行われた。

講義第1部「当会の社会的な位置付けについて」では、最初に事務局足立支所長代理が「中央会組織と位置付け」と題し、中央会組織の中での青年中央会の存在について講義を行った後、山本副会長が「他団体及びOB会とのかわり」(今月号What's中央会参照)、市位県出向監事が「県中央会について」、野嶋監事が「中央会とトライアスロン」について熱く語った。

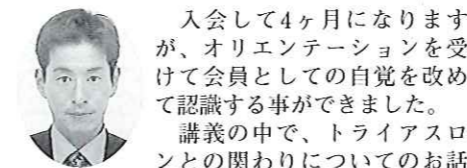
続く第2部では、「今年の中央会と今後について」として、門協副会長による「今年度の事業計画」の講義の後、中津尾副会長が「周年事業の役割」、岩田直前会長が「会員としての心構え」の講義を行った。

このオリエンテーションは昨年度も行われたが、新入会員以外でも知らないことが多くあると思う。また、30年近くにわたる中央会の歴史の積み重ねを強く感じるとともに、講師にあたった先輩会員が中央会にどれだけの想いを込めているかがよくわかった。特に、岩田直前会長の、「約束事は守る」「信頼関係を大切に」「企業人として成長するために中央会は存在する」といった話は、新入会員に限らず我々会員すべてに贈られた言葉であると感じた。

(植田 寿雄)



新入会員オリエンテーションを終えて 政治行政委員会 長田 賢一



入会して4ヶ月になります。オリエンテーションを受けて会員としての自覚を改めて認識する事ができました。講義の中で、トライアスロンとの関わりについてのお話があり、トライアスロンにとって中央会が大きな役割を果たしている事を知りました。私も以前からボランティアに携わっておりましたので、今後更に熱い思いを持ち、ボランティアに取り組みようと思えました。昨今、当たり前な事が出来ない人が多く、私もその中の一人かもしれないが、岩田直前会長が言われた、「約束事は守る!」の一言にドキッとさせられ、改めて考えさせられた思いがありました。

今回の講義を聞くことにより、中央会の役割と会員としての心構えを学ぶ事が出来ました。この度学んだことを念頭に置き、自己を磨いて、何でも言いあえる仲間を作りたいと思います。

今回は貴重なお話を頂き、誠にありがとうございました。より一層の精進を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

オリエンテーション感想 総務委員会 砂原弘明



今回の新入会員オリエンテーションに参加させていただき、今まで曖昧だった中央会のことを学ぶことができて、大変勉強になりました。今までは会員名簿に記載されている会則等を見て、中央会の目的等がある程度しか知っていなかったのがとてもよくわかりました。

初めに中央会のビデオで、これまでの会の歴史や事業等を見せていただき、会員の方々の表情がとても印象に残りました。生き生きとして、そしてとても真剣に取り組みでおられる姿勢を見て、自分も頑張ろうという気持ちを強く持ちました。中央会に入会してまだ日が浅く、必要以上に緊張している自分がありますが、少しずつでも自分の意見などを出せるように努力したいと思えました。

卒会までの間に、自分自身を鍛えて人間的に成長できるように勉強していきたいと改めて思いました。今後には生かしていこうと思っておりますので、よろしくお願い致します。

オリエンテーション感想 国際交流委員会 尾沢 聡巳



去る1月27日、食品会館において、平成14年度新入会員オリエンテーションが行われました。私も去年の10月入会ということで参加させていただきました。門協会長をはじめ役員の方々より、中央会の歴史、組織、今年度の事業計画等、中津尾副会長手作りのビデオ上映を含め、約2時間にわたり説明を受けましたが、正直中央会というところはどこかというところのなにかよくわかりませんが、いずれにせよどの青年経済団体も基本的な部分は一緒なんだと、改めて岩田直前会長・野嶋監事のお話をお聞きし感じました。

私も早く中央会の色に染まり、一人でも多くの人と信頼関係が築けるように頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。